全校生で創り出す新たな一ページ「新風到来」醸中祭

「新風到来」をテーマに、醸芳中学校の文化祭「醸中祭」が10月25日に開かれました。合唱コンクールでは、緊張感が漂う中、各クラスがこれまで練習してきた成果を存分に発揮され、美しいハーモニーが体育館に響き渡りました。ステージ発表では、総合的な学習の時間のまとめ発表や吹奏楽部の演奏、歌、ダンスなどが披露されました。これまでの伝統を受け継ぐだけでなく、新しい風を吹かせ、常識を吹き飛ばすというテーマのもと、全校生が一体となって醸中祭を創り上げました。

1・2_張り詰めた空気が漂う中、指揮・ピアノ・歌声が重なり合い美しいハーモニーが会場に響く合唱コンクール。練習の成果を存分に発揮しました　3_今年のテーマ「新風到来～ぶちあがれ！醸中!!」を描いた伝統のビックアート　4_吹奏楽部による演奏　5_歌やダンスで会場を盛り上げる生徒のみなさん

堂々とした姿で自己表現 小学校学習発表会

町内4小学校の学習発表会が10月18日、各校で行われました。

伊達崎小では、意見発表会や楽器の演奏、半田醸芳小では、毎年恒例の半田銀山祇園囃子の演奏や劇「サラダでげんき」などを発表。醸芳小では、「働くって何？私たちの未来は…」をテーマとした創作劇、睦合小では、劇団四季のミュージカル「夢から醒めた夢」の睦合小バージョンを披露しました。ステージ上でも自分らしさを堂々と表現する児童らの姿に、会場から大きな拍手が送られました。

伊達崎小

半田醸芳小

醸芳小

睦合小

町自慢の食材を堪能「こおりっ子給食」で育む地元愛

町自慢の食材をふんだんに活用した「こおりっ子給食」が10月16日、町内の幼稚園および小中学校に提供されました。幼少期から給食を通して町産の食材に触れることで、町の「おいしい」味わいを知ってもらい、郷土愛を育んでいこうと令和4年度から始まった本事業。当日は、伊達崎小学校3年生の教室を髙橋町長が訪れ、13人の児童らと一緒に特別な給食を堪能しました。伊藤俊介主任栄養技師による食材の説明などを聞きながら、味の感想や好きな給食について話し、みんなで楽しい給食の時間を過ごしました。

■ご飯（町産コシヒカリ）
■牛乳（県産）
■ロイヤルピーチポーク丼
・町ブランド豚「ロイヤルピーチポーク」もも肉を使用
■けんちん汁
・安齋醸造とJA加工部会のみそ、キッコーゲン醤油のだししょう油を使用
■きゅうりのあさづけ
■りんごのコンポート（県産）

いただきますの舞台裏へ 幼稚園児給食センター見学会

醸芳幼稚園児らによる町給食センター見学会が10月20日、21日、24日に同施設で行われました。この取り組みは、身近なところで働く人の仕事と自分たちとの関わり合いを知るとともに、食事の大切さを学ぶことを目的に毎年行われています。当日は、調理の様子を見学した後、模型の調理器具を使って実際に釜まわしに挑戦。伊藤主任栄養技師による紙芝居も行われ、栄養のある食べ物を好き嫌いせずに食べることの大切さを学びました。

▶熱々の釜は殺菌効果もあると知り一生懸命に混ぜる児童

みんなで確認 交通ルールとマナー 佐川急便交通安全教室

町と「地方創生に関する包括連携協定」を締結している佐川急便株式会社による交通安全教室が11月11日、醸芳幼稚園で行われました。当日は、信号機やトラックの模型を使ったクイズが出題され、信号の色や車のウインカーの意味などを確認しました。横断歩道を渡る場面の再現では、左右を見て大きく手を挙げる動作を一人一人が実演。また、実物のトラックを見本に、内輪差について学び、交通安全の意識向上を図りました。

▶右、左、右を見てから大きく手を挙げて渡る園児